

# 第2章

## 健康に関する大野市の現状と特性

### 1 人口構成の推移

大野市の総人口は年々減少しています。0歳から64歳までの人口は減少していますが、65歳以上の高齢者の人口は増加しており、今後もさらに高齢化が進むことが予想されます。

(単位：人)

区分	H29	H30	R1	R2	R3
総人口	34,202	33,735	33,249	32,630	32,083
0歳～14歳	3,736	3,672	3,558	3,456	3,346
15歳～64歳	18,865	18,304	17,885	17,419	16,926
40歳～64歳 (上記内数)	10,824 31.6%	10,514 31.2%	10,333 31.1%	10,134 31.1%	9,962 31.1%
65歳以上	11,601 33.9%	11,759 34.9%	11,806 35.5%	11,755 36.0%	11,811 36.8%
75歳以上 (上記内数)	6,319 18.5%	6,359 18.8%	6,348 19.1%	6,272 19.2%	6,177 19.3%

\* 下段：総人口に対する割合

\* 資料 住民基本台帳（外国人含む）各年4月1日現在

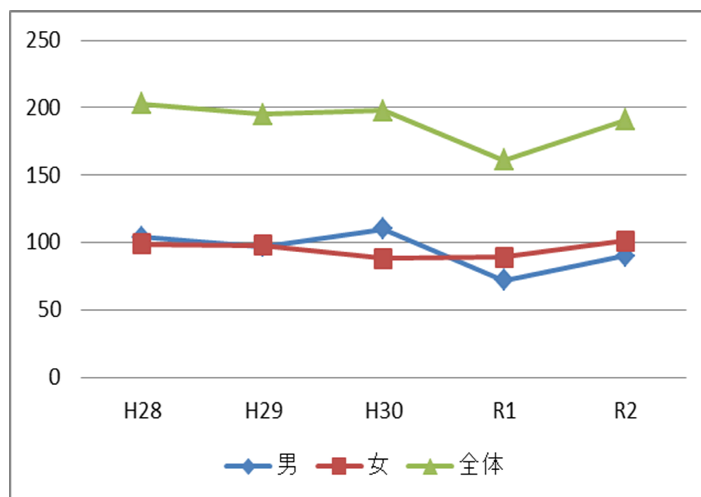
### 2 人口動態・平均寿命

#### (1) 出生数の推移

出生数は、平成28年の203人に比べ、令和2年は191人に減少しており、出生数は、減少傾向です。

(単位：人、年)

年	男	女	合計(人)
H28	104	99	203
H29	97	98	195
H30	110	88	198
R1	72	89	161
R2	90	101	191



## (2)主要死因の状況

令和元年の死因の状況をみますと、男性は悪性新生物（31.4％）が最も多く、次いで心疾患（10.6％）、脳血管疾患（9.5％）となっています。女性は悪性新生物（19.5％）が最も多く、次いで心疾患（17.1％）、老衰（15.7％）、脳血管疾患（10.8％）となっています。

年別の死因をみますと、いずれの年も男女ともに悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の割合が高くなっています。

### 大野市（男性）

年		悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺	その他	死亡総数
H 29	死亡者数(人)	81	3	-	33	32	25	3	4	10	17	3	64	275
	割合(%)	<b>29.4</b>	1.1	-	12.0	11.6	9.1	1.1	1.5	3.6	6.2	1.1	23.3	100
H 30	死亡者数(人)	76	-	1	31	30	13	3	3	8	14	2	52	233
	割合(%)	<b>32.6</b>	-	0.4	13.3	12.9	5.6	1.3	1.3	3.4	6.0	0.9	22.3	100
R 1	死亡者数(人)	86	5	1	29	26	10	4	3	15	10	5	80	274
	割合(%)	<b>31.4</b>	1.8	0.4	<b>10.6</b>	<b>9.5</b>	3.6	1.5	1.1	5.5	3.6	1.8	29.2	100

### 大野市（女性）

年		悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺	その他	死亡総数
H 29	死亡者数(人)	50	3	-	28	25	13	3	4	39	10	1	56	232
	割合(%)	<b>21.6</b>	1.3	-	12.1	10.8	5.6	1.3	1.7	16.8	4.3	0.4	24.1	100
H 30	死亡者数(人)	40	6	1	39	41	9	-	3	31	9	1	68	248
	割合(%)	<b>16.2</b>	2.4	0.4	15.7	16.6	3.6	-	1.2	12.5	3.6	0.4	27.4	100
R 1	死亡者数(人)	56	1	3	49	31	14	2	4	45	4	-	78	287
	割合(%)	<b>19.5</b>	0.3	1.0	<b>17.1</b>	<b>10.8</b>	4.9	0.7	1.4	<b>15.7</b>	1.4	-	27.2	100

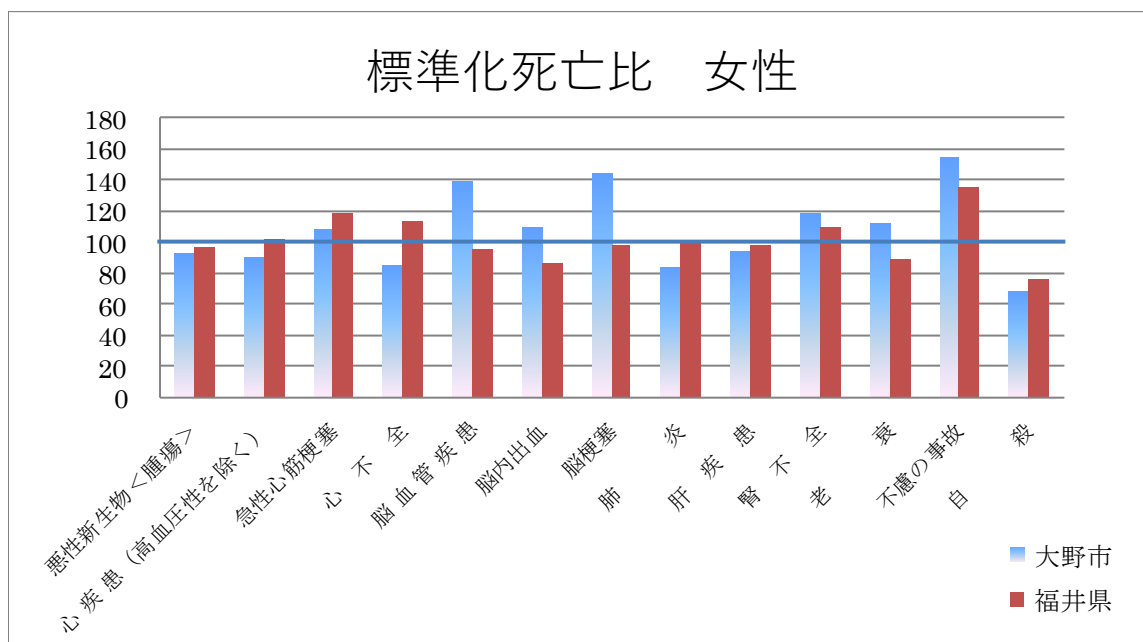
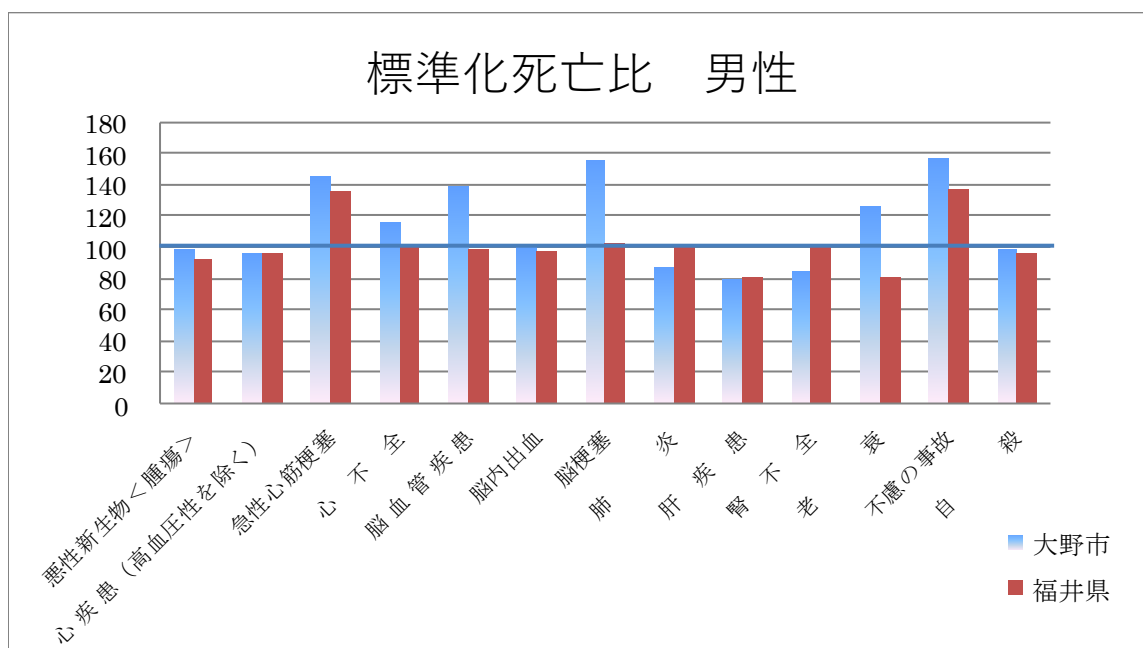
※各年「人口動態統計（福井県）」より

### (3) 標準化死亡比の状況

平成25年から29年における大野市と福井県の標準化死亡比\*を比較すると、大野市は男女とも脳内出血・脳梗塞など脳血管疾患が高い状況です。男性については、急性心筋梗塞や心不全なども高い状況です。

#### \*標準化死亡比

基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる死亡数と実際の死亡数とを比較するものである。全国の平均を100として、100以上の場合は全国より死亡率が高く、99以下の場合は死亡率が低いとされる。



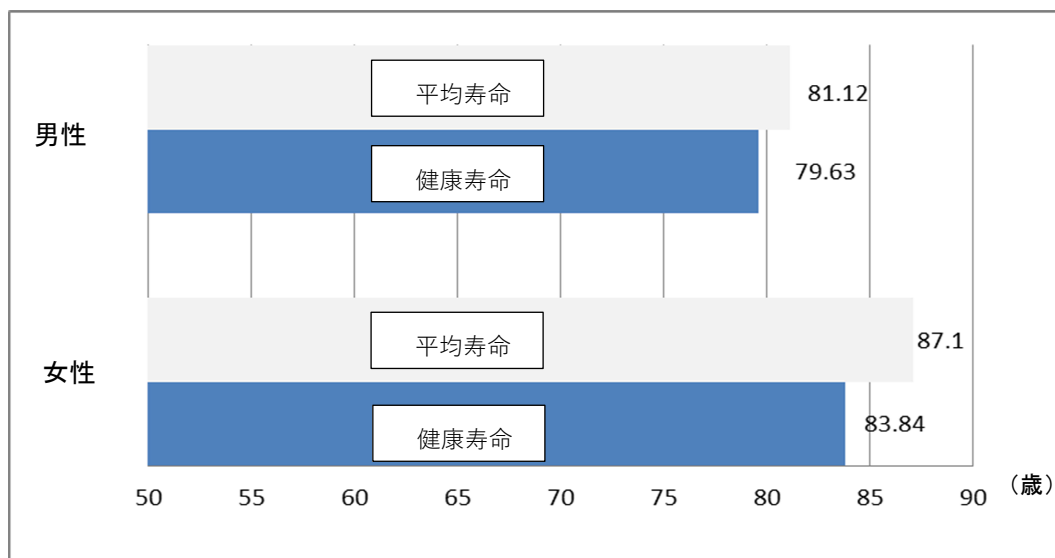
\*奥越健康福祉センター 衛生統計年報

#### (4) 平均寿命・健康寿命の状況

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間です。

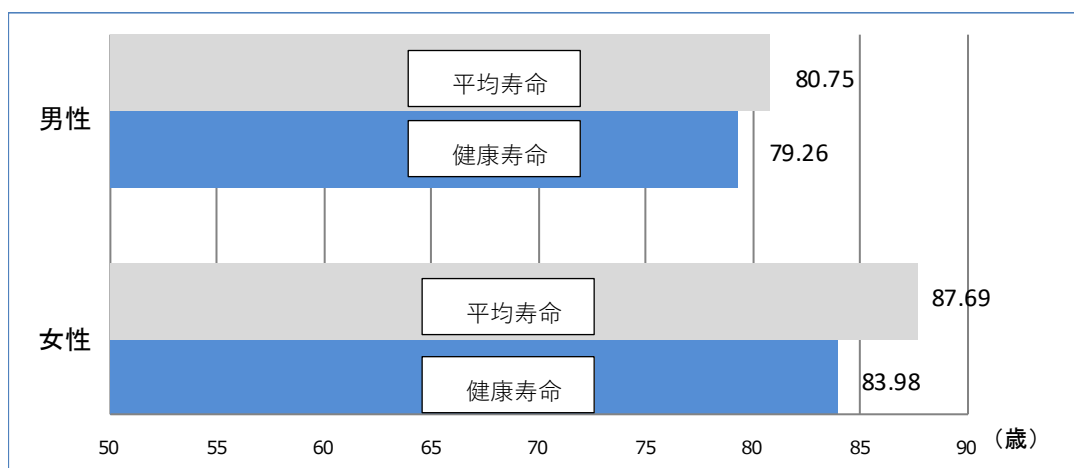
##### ① 介護度などから算定した福井県の平均寿命・健康寿命（令和元年）

福井県が、介護保険の要介護認定調査の結果に基づく「日常生活動作が自立している期間」を指標に算定した、福井県の令和元年の健康寿命は、男性が79.63歳、女性が83.84歳で、平均寿命と健康寿命の差は、男性1.49年、女性3.26年となっています。



##### ② 介護度などから算定した大野市の平均寿命・健康寿命（令和元年）

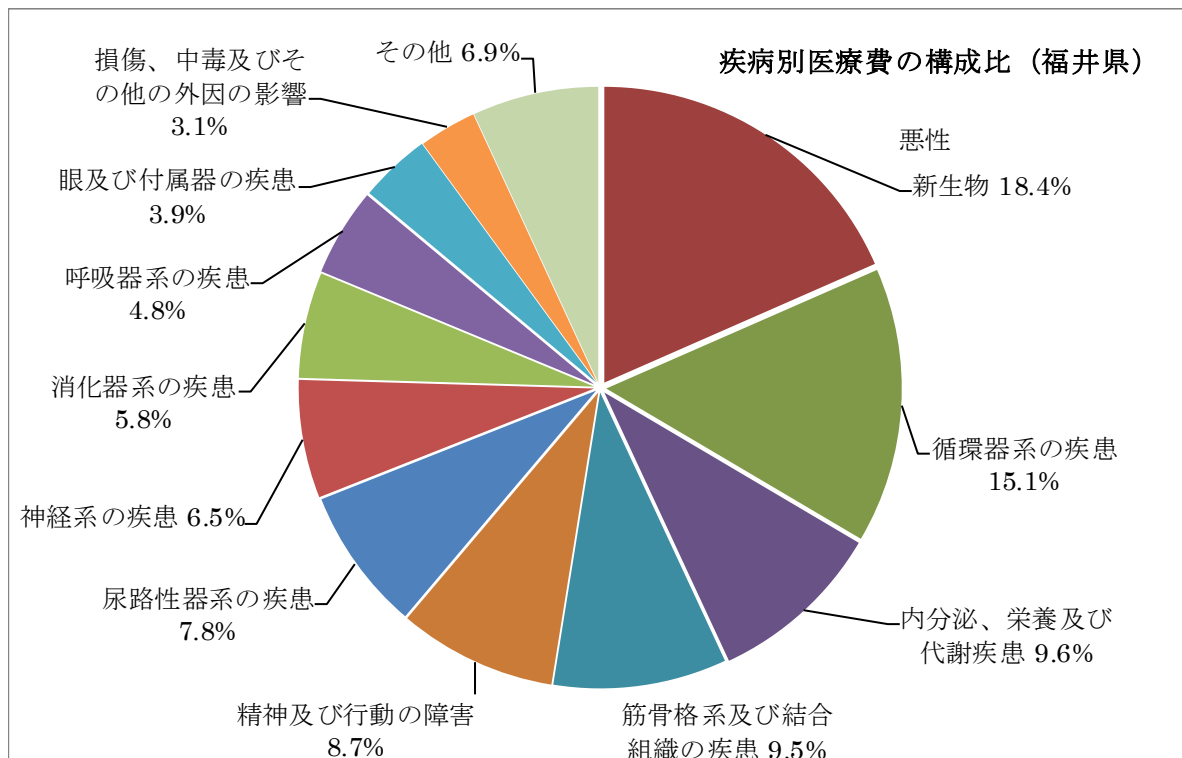
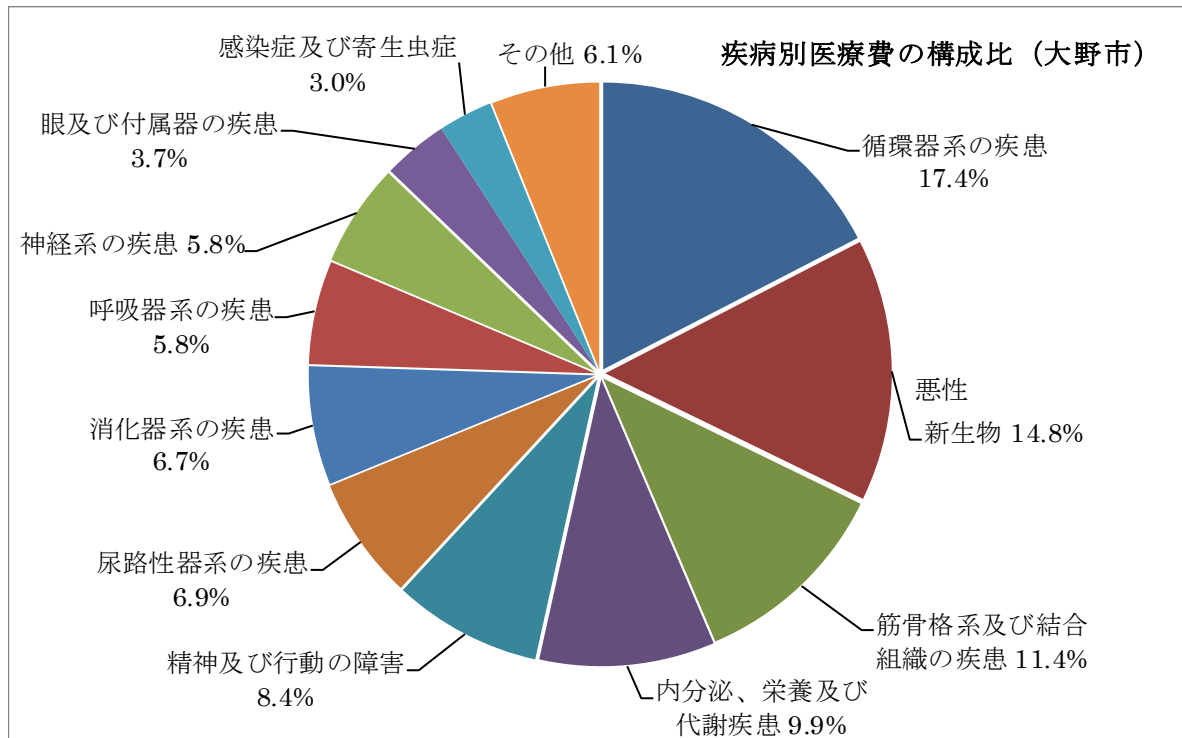
福井県が、介護保険の要介護認定調査の結果に基づく「日常生活動作が自立している期間」を指標に算定した、大野市の令和元年の健康寿命は、男性が79.26歳、女性が83.98歳で、平均寿命と健康寿命の差は、男性1.49年、女性3.71年となっています。



\*資料 福井県が、平均寿命、健康寿命、介護度から算定

### 3 国民健康保険の医療費の状況

大野市国民健康保険加入者の令和2年5月に治療した疾患を分類しました。疾病別の割合は、大野市は循環器系の疾患にかかる医療費が17.4%でもっとも多く、悪性新生物、筋骨格系の疾患の順となっています。福井県と比較すると上位の疾患については循環器系の疾患の割合が2.3%多く、新生物の割合が3.6%少ないもののほぼ同様の傾向がみられます。これらは、主に食生活や運動不足などの生活習慣に起因するものです。



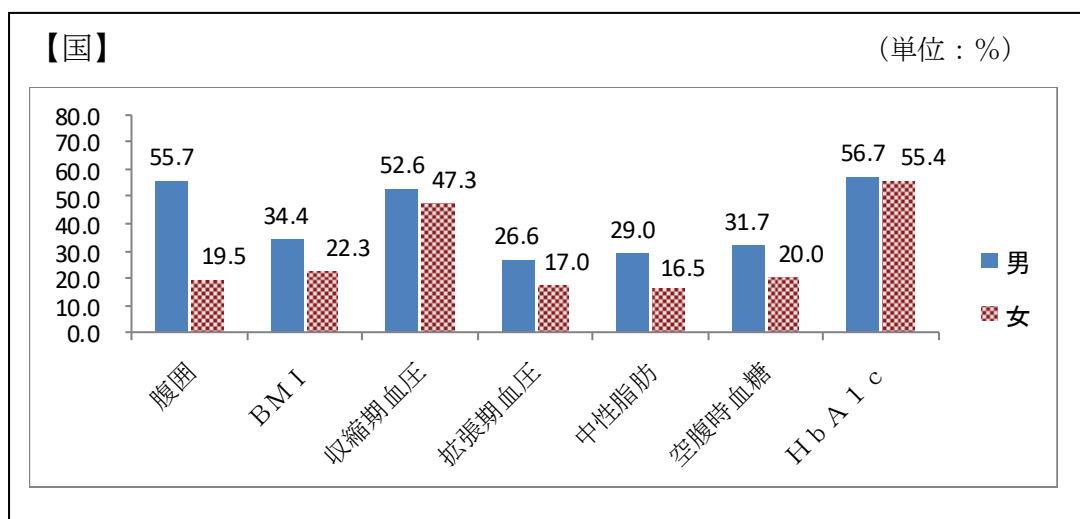
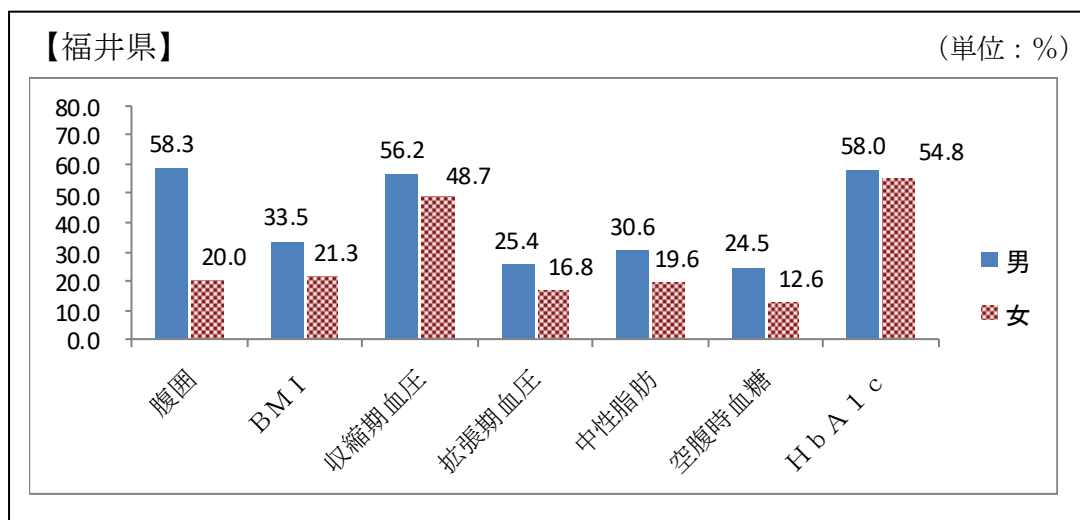
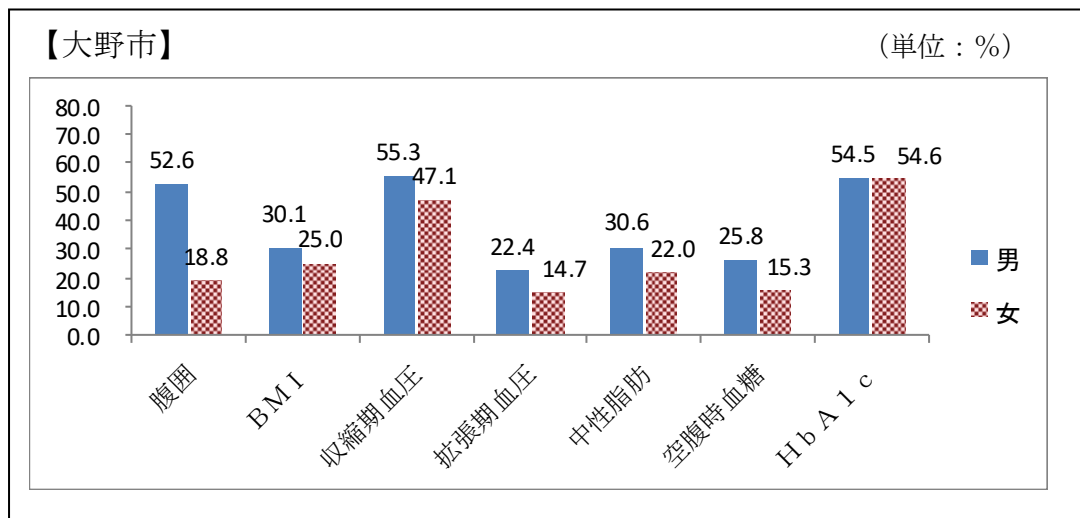
※国民健康保険のデータのため他の保険者分は含めない。

出典：市民生活・統計課

## 4 特定健診の状況

特定検診での検査項目で異常がある割合は、男性では、収縮期血圧が最も高く、次いでHbA1c（16 ページ参照）が、女性ではHbA1cが最も高く、次いで収縮期血圧の順で高くなっています。福井県および国と比較すると各項目の数値に若干の差があるものの、同様の傾向がみられます。

※特定検診の各検査項目で異常がある人の割合



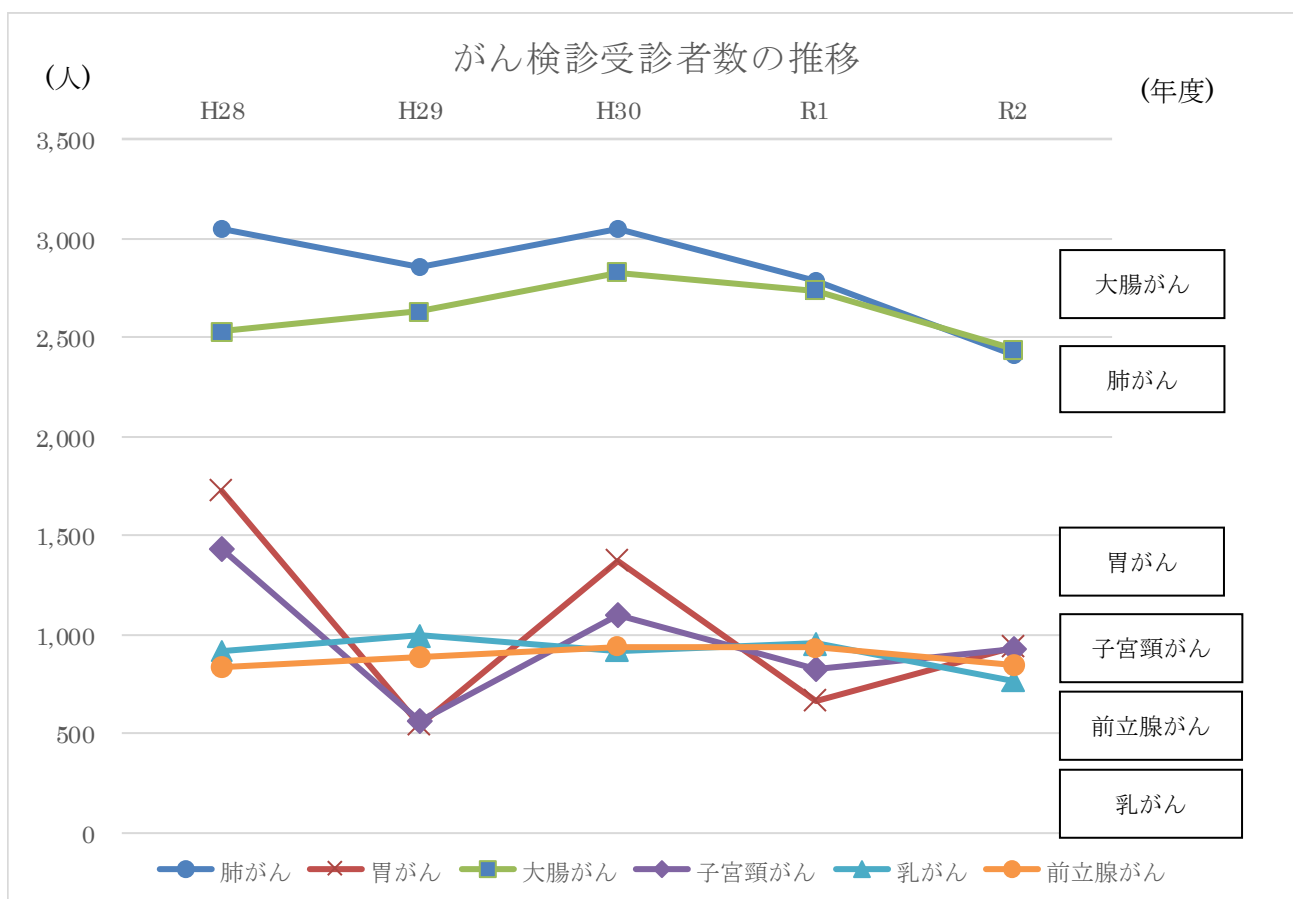
## 5 各種がん検診の状況

大野市では、肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんの6種類について、がん検診を実施しています。

(単位:人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
肺がん	3,044	2,849	3,041	2,781	2,406
胃がん	1,723	545	1,367	664	934
大腸がん	2,528	2,630	2,826	2,737	2,438
子宮頸がん	1,430	563	1,097	824	928
乳がん	918	994	921	955	765
前立腺がん	840	886	942	934	845

※国のがん検診の指針に沿って、H29年度から胃・子宮頸がん検診を2年に1回の隔年受診に変更



## 6 保健事業の取り組み状況

### (1) 食生活改善推進員による地区活動の状況

食生活改善推進員の地区活動として、「減塩料理」や「緑黄色野菜」、「メタボ予防」、「親子料理」などをテーマに調理実習や講義を行っています。講座回数は横ばいですが、参加者数は減少傾向にあります。

### (2) フレイル予防事業の状況

年度	H28		H29		H30		R1		R2	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
親子料理	6	90	6	98	4	72	5	108	—	—
減塩料理	3	38	3	31	2	36	—	—	—	—
緑黄色野菜	2	21	3	41	2	32	2	25	—	—
メタボ予防	3	25	3	32	2	32	2	25	—	—
計	14	174	15	202	10	172	9	158	—	—

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症により活動を中止

高齢者の健康づくりとして、フレイル予防事業を実施しています。

フレイル予防を推進するための市民ボランティアである「フレイルサポーター」を令和元年度から養成し、高齢者を対象にフレイルチェックを行うことにより、フレイル兆候の早期発見に繋がっています。

#### ① フレイルサポーター養成状況

年度	R1	R2	計
養成者数	26	17	43

#### ② フレイルサポーター活動状況

年度	R1		R2	
	回数	参加延べ人数	回数	参加延べ人数
フレイルチェック	3	40	3	31
研修会	1	20	1	23

### (3) 結の故郷健康サポーター

平成25年度より市民の健康づくりを推進することを目的として、「結の故郷健康サポーター」を養成しています。

結の故郷健康サポーターは、大野市と協働で家庭や地域で健康づくりや介護予防を支える活動に取り組んでいます。【令和2年度末／登録人数：75人】

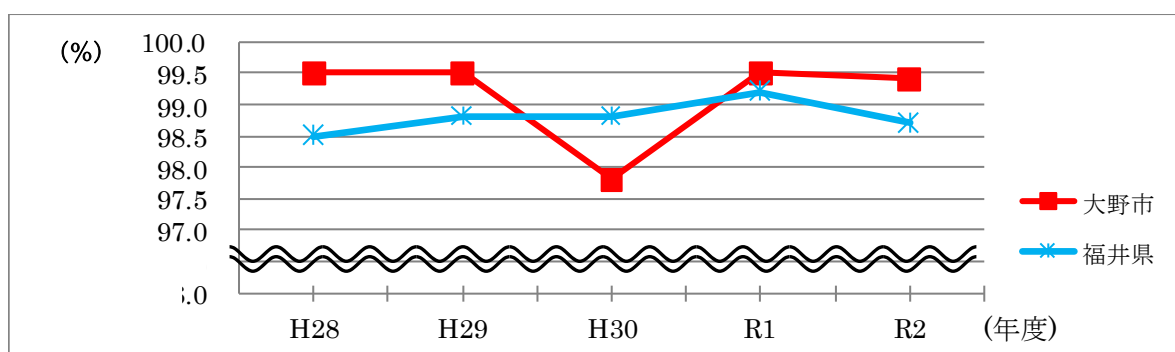


#### (4) 幼児健康診査における歯科健診の状況

##### 1) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児健康診査を受診した中で、むし歯がない子の割合は、令和2年度では99.4%で、福井県平均と比べて高くなっています。

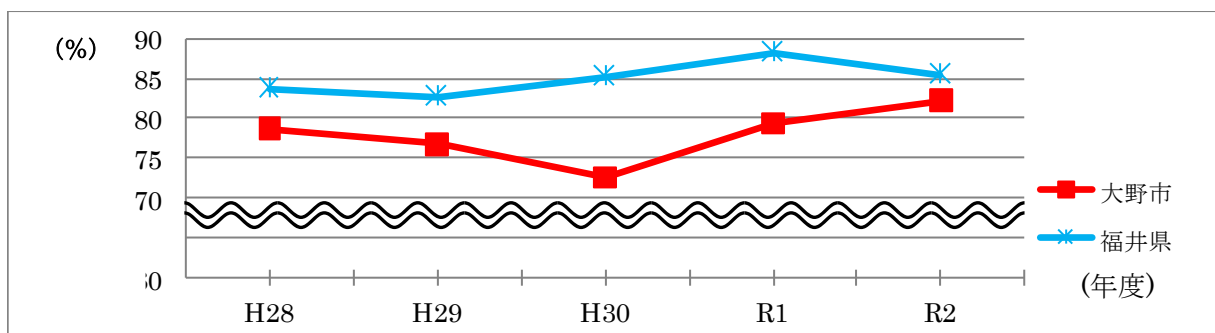
年度	受診者(人)		むし歯がない子の割合(%)	
	大野市	福井県	大野市	福井県
H28	216	6,346	99.5	98.5
H29	204	6,042	99.5	98.8
H30	184	5,970	97.8	98.8
R1	197	5,287	99.5	99.2
R2	177	5,967	99.4	98.7



##### 2) 3歳児健康診査

3歳児健康診査を受診した中で、むし歯がない子の割合は、平成28年度から平成30年度にかけて減少し、それ以降は増加していますが、福井県平均と比べて低くなっています。

年度	受診者(人)		むし歯がない子の割合(%)	
	大野市	福井県	大野市	福井県
H28	122	5,597	78.7	83.7
H29	228	6,270	76.8	82.7
H30	225	6,236	72.4	85.2
R1	189	5,612	79.4	88.2
R2	208	5,108	82.7	85.5



## 7 要介護認定者の状況

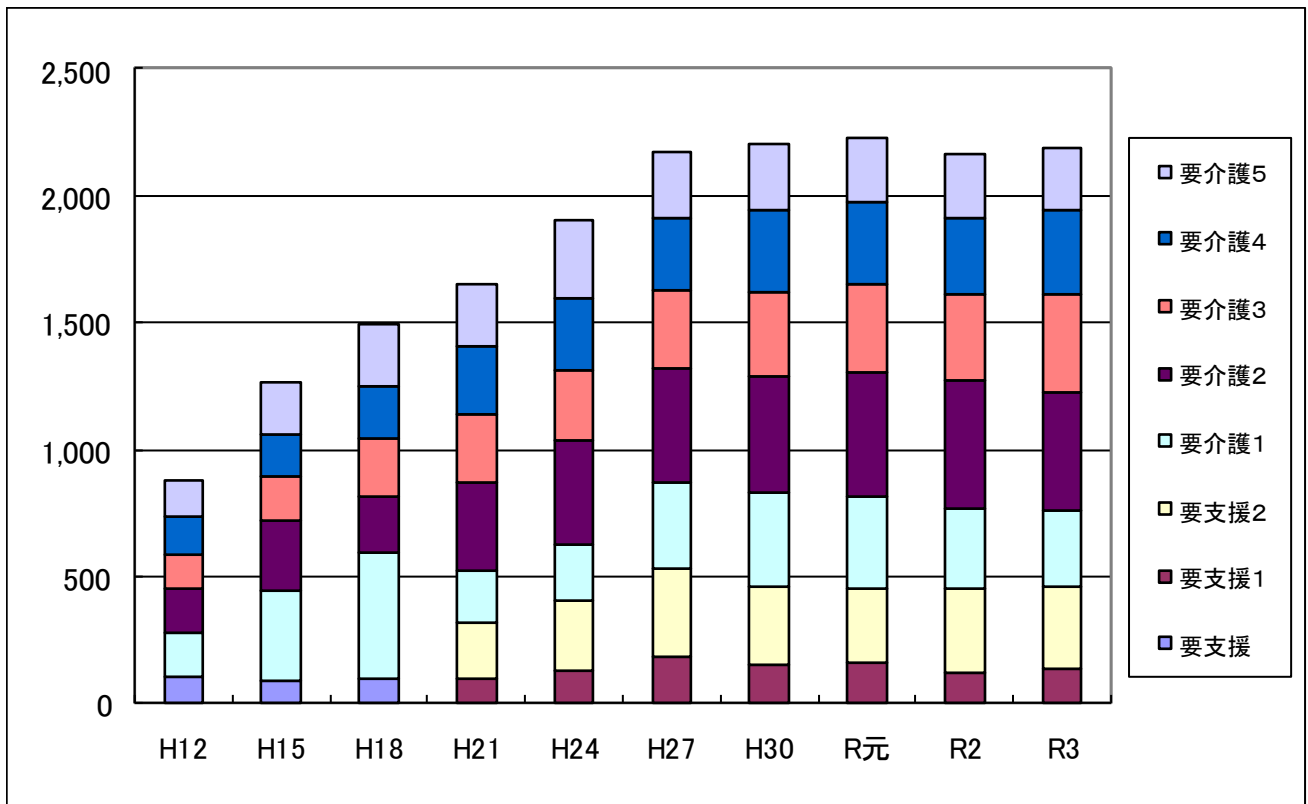
平成18年4月から要支援の認定区分が変わりました。

要介護認定者数は増加しており、令和3年度の認定者数は2,186人、認定率は18.8%で、高齢者の約5人に1人が認定を受けています。

	12年度	15年度	18年度	21年度	24年度	27年度	30年度	元年度	2年度	3年度
要支援	101	86	98	-	-	-	-	-	-	-
要支援1	-	-	-	97	127	184	152	159	118	135
要支援2	-	-	-	221	274	346	306	290	334	323
要介護1	180	355	496	201	228	342	371	367	319	305
要介護2	169	279	219	351	404	446	457	484	498	459
要介護3	132	170	228	272	281	308	331	349	341	389
要介護4	157	167	204	261	283	282	328	325	305	333
要介護5	141	211	245	250	310	265	262	251	248	242
合計	880	1,268	1,490	1,653	1,907	2,173	2,207	2,225	2,163	2,186
第1号被保険者数	9,700	10,303	10,595	10,893	10,721	11,237	11,619	11,655	11,598	11,651
認定率	9.1%	12.3%	14.1%	15.2%	17.8%	19.3%	19.0%	19.1%	18.6%	18.8%

※資料 介護保険事業状況報告（前年度末日の人数）

（単位：人、年度）



※平成18年度から法改正により、要支援は1、2に分類されるようになりました。